

第14回 実験動物科学シンポジウム

シンポジウムタイトル 「性と疾患」	
日時	2026年10月23日（金）12:30～16:45
場所	オーテピア高知図書館 4階 ホール（高知市追手筋2-1-1）
参加費	無料（事前申込優先、席に余裕があれば当日参加可能）
参加申込フォーム	* 参加申込フォームは現在準備中です。公開まで今しばらくお待ちください。
主催	日本実験動物学会, 関西実験動物研究会
世話人	津田雅之（高知大学）、磯谷綾子（奈良先端科学技術大学院大学）
プログラム	
〈開会挨拶〉 12:30-12:40	日本実験動物学会・理事長 小倉 淳郎（理研BRC） 関西実験動物研究会・会長 横井 伯英（京都大学）
〈第1部〉 座長：塩谷 恭子（国立循環器病センター）、太田 毅（京都大学）	
1）12:40～13:15	伊藤 日加瑠（香川大学） 「うつ病モデル雌マウス作製方法の開発と病態解析」
2）13:15～13:50	紙谷 聡英（東海大学） 「肝機能の性差がもたらす肝疾患の病態変化」
3）13:50～14:25	鈴木 堅太郎（山梨大学） 「疼痛と性～痛みの感じ方が人それぞれなのはなぜだろう？～」
4）14:25～15:00	小林 慎（産業技術総合研究所） 「性差を示す疾患モデルとX染色体不活性化異常」
(15:00～15:20 休憩)	
〈第2部〉 座長：磯谷 綾子（奈良先端科学技術大学院大学）	
5）15:20～16:00	的場 章悟（理研BRC） 「マウス全身表現型から読み解く性差とY染色体遺伝子の役割」
6）16:00～16:40	京極 博久（神戸大学） 「性差の起点としての受精卵：雌雄前核サイズ制御と初期胚エピゲノム」
〈閉会挨拶〉 16:40～16:45	日本実験動物学会・学術集会委員会委員長 真下 知士（東京大学）
〈意見交換会〉 17:30～19:30	* 意見交換会の参加申込方法および詳細は、後日掲載いたします。